



良いことをとり入れて、大きくはばたける年に

校長 鹿倉 朋宏

あけましておめでとうございます。

澄み渡る青空に枯れ色となった木々や草草などが映える美しい冬景色です。新たな年がスタートしました。1月10日の朝、子どもたちは待っていたかのように登校し、始業式では元気いっばいの歌声を響かせ、新たな気持ちでがんばろうという意気込みが伝わってきました。

私は始業式で今年の干支「酉（とり）」について話しました。「酉」年の年賀状は、鶏（にわとり）の絵が用いられます。鶏は1日のスタートに「コケコッコ」と元気に鳴く縁起の良い動物とされています。「とり」という読みから、良い運氣やお客さんを「とり」こむ商売繁盛の年とも言われています。神社やお寺で年末に行われる「酉の市」も1年の無事を感謝し、来る年の幸せを「とり」こむことを願った祭りですね。

さて本校の校名の「深谷はばたき特別支援学校」は、白鳥飛来の地にちなんでつけられました。校門から見える校舎の壁に描かれたはばたく白鳥が私は大好きです。

白鳥は遠く極寒シベリアの地から越冬のために数千キロの命がけの旅をしながら日本まで飛来し、春になるとまた繁殖のためにシベリアに帰っていきます。

古来より鳥は天の使いと考えられ幸運を運んでくると伝えられています。

今年は、いろいろなことを真剣に学び、仲間とふれあって生活に必要なさまざまな力や自分の中にとりこみ、大きくはばたいて成長できる年でありますようにと願っております。大切なことを自分に取り入れられるかどうかは、「素直な心」と「実行力」にかかっています。葉の落ちた木々が新緑の春に向けて栄養をじっくり蓄えているのと同様に、3学期は1年のしめくくりであると同時に、次のステップに向かってじっくり力を蓄えていく時期でもあります。子どもたちがしっかり力を蓄え、笑顔で春を迎えられるよう私たち教職員一同も力を尽くしていきます。本年も本校の一層の発展に向けて、保護者並びに地域の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

